

第11-30号

2011.10.13

**踏切での脱線事故を想定した復旧作業訓練に現業係員約400名が参加  
「異常時総合訓練」を10月20日(木)に海老名電車基地で実施**

**- 実際に列車が脱線した状態をつくり、踏切事故を再現 -**

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：山木 利満）では、不測の事態に備えて、重大事故を想定した模擬訓練を毎年実施していますが、今年も10月20日（木）に、小田急線海老名駅西側の海老名電車基地で「異常時総合訓練」を実施します。

この「異常時総合訓練」は、運転車両部・旅客営業部・工務部・電気部・複々線建設部の各現業係員約400名が参加して行う大規模な訓練で、異常時における併発事故の防止と事故の早期復旧、運転事故防止意欲の高揚を目的として、1962年から毎年実施しています。

訓練当日は「列車が踏切で乗用車と接触し脱線、乗用車が炎上」という事故を想定。実際に列車が脱線した状態をつくり、初期消火活動、お客さまの避難誘導、負傷者の救出・応急処置、情報連絡、緊急出動や復旧作業など、関係機関と連携し本番さながらの臨場感のある訓練を行います。

なお、同訓練は、海老名市消防署や海老名警察署と合同で実施する予定です。

「異常時総合訓練」の概要は、次のとおりです。



**本番さながらの臨場感のある訓練を実施（昨年の様子）**

## 記

1. 日 時 2011年10月20日(木) 12時15分～14時45分(予定)  
予備日 2011年11月10日(木)
2. 場 所 海老名電車基地(小田急小田原線海老名駅西側)  
住所: 神奈川県海老名市上郷610
3. 参加人員 運転車両部、旅客営業部、工務部、電気部、複々線建設部の現業職場の係員  
約400名
4. 訓練内容 踏切事故が発生した際の応急処置と復旧訓練  
(1) 人命救助や適切なお客さまの避難誘導および二次災害の防止  
(2) 現地対策チームの役割分担による障害物の除去と早期復旧作業  
(3) 情報連絡体制の確立による的確な情報提供とお客さま案内 など  
訓練は、海老名市消防署及び海老名警察署と合同で実施します。

### < 事故想定 >

片瀬江ノ島駅発相模大野駅行き上り各駅停車が、江ノ島線大和駅～鶴間駅間の踏切で、遮断桿を突破して踏切内に進入してきた自動車と接触。列車内に負傷者が出たほか、自動車が車両最前部下に食い込み炎上し、先頭車両が脱線。さらに、踏切保安装置・架線・レール・枕木などが破損した。

負傷者	自動車運転手	重傷	1名
	列車内の乗客	軽傷	10名(車椅子の乗客 1名)

以 上